

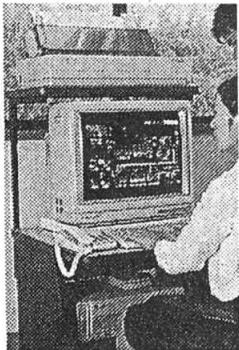
# 小松電機

# 集落排水管理に新機軸

## 複数個所で同時制御・監視

制御機器製造の小松電機産業(本社島根県八束村、社長小松昭夫氏)は公衆電話回線を使い、複数の個所で同時に管理・監視できる集落排水計測・制御・監視システムを開発した。農・漁村を中心とした排水処理施設整備が急拡大する中で、少ない人數で効率よく排水管理できる一連のシステムの開発は初めて。小松電機は高速閑閉自動シャッターライドも急成長している山陰でも有数の中堅企業だが、今回の環境製品は同社第二の主力商品を育していく方針だ。

### 公衆電話回線を使用



排水処理場の状況をテレビモニターで常時監視できる新システム

力所の中継ポンプ場の監視が可能なほか、通信手段に公衆電話回線を使っているので、維持費が比較的安く済む。処理場の各施設の運転状況や計測値を役場

最大十五ヵ所の処理施設と五十以上の受注生産に踏み切る。集落排水施設整備事業は農水省や水産庁だけでなく厚生省や建設省も各種事業計画を立て推進が始まったばかり。町村単位では施設ができる技術者不足で管理面の不安があることから、今回の開発となった。小松電機は七三年設立、従業員数七十五人、年商三十五億円。

などにあるテレビモニターで常時監視でき、異常時の警報装置もついている。特に水処理の専門家不足の中で、役場、維持管理者者や、現場担当者が互いに効率よく全体のシステムを管理できるよう工夫したCAN(コンピューター・アシスト・ネット)に囲み同社は特許を出願中。価格は機種の大小により一千二千五万円から四千万円まで。当面十台、来年度からは年間約百台以上の受注生産に踏み切る。

集落排水施設整備事業は農水省や水産庁だけでなく厚生省や建設省も各種事業計画を立て推進が始まったばかり。町村単位では施設ができる技術者不足で管理面の不安があることから、今回の開発となつた。小松